



日本精神分析協会
精神分析インスティテュート
福岡支部

2023 年度 精神分析セミナー

— 第 9 期 3 年次開催のご案内 —

主催：日本精神分析協会 精神分析インスティテュート福岡支部

第9期3年次へのご挨拶

精神分析インスティテュート福岡支部委員長
古賀 靖彦

第9期の精神分析セミナーも最終年次になります。この年次では、「神経症論」「精神医学と精神分析」「パーソナリティの病理」「症例から学ぶ」などの精神分析の臨床応用を中心に講義が進みます。講義のみならず、講師との積極的な交流を通して、みなさんの日常臨床活動に対する精神分析的な理解が深まることを期待いたします。

なお、本セミナーは、国際精神分析学会（IPA）の基準に則った精神分析家、あるいは、日本精神分析協会（JPS）が独自に認定する精神分析的な精神療法家になるための訓練コースに志願する場合に受講すべき「基礎セミナー」です。また、日本精神分析学会認定研修グループ、および、日本臨床心理士資格認定協会承認研修会でもあります。

2023年度 精神分析セミナープログラム一覧

	テーマ	日程	時間	講義タイトル	講師
1	神経論	5月20日 (土)	15:00-17:15	神経症総論	岡田 暁宜
			17:30-20:00	神経症各論	古賀 靖彦
		5月21日 (日)	09:30-12:00	解離性障害と自己愛障害	岡野 憲一郎
			12:00-12:30	総括	古賀 靖彦
2	精神医学と精神分析	7月8日 (土)	15:00-17:15	感情障害・気分障害	東中園 聡
			17:30-20:00	統合失調症	松木 邦裕
		7月9日 (日)	09:30-12:00	心身症・摂食障害	鈴木 智美
			12:00-12:30	総括	鈴木 智美
3	パーソナリティの病理	9月16日 (土)	15:00-17:15	パーソナリティ障害の メタ心理学・臨床対応	松木 邦裕
			17:30-20:00	パーソナリティ障害の精神分析	鈴木 智美
		9月17日 (日)	09:30-12:00	ひきこもり	加藤 隆弘
			12:00-12:30	総括	松木 邦裕
4	治療機序論	11月18日 (土)	15:00-17:15	アセスメント	岡田 暁宜
			17:30-20:00	治療機序	鈴木 智美
		11月19日 (日)	09:30-12:00	治療過程	古賀 靖彦
			12:00-12:30	総括	鈴木 智美
5	症例から学ぶ	2024年 1月13日 (土)	15:00-17:15	精神分析と精神分析的 精神/心理療法、 およびスーパービジョン	古賀 靖彦
			17:30-20:00	症例	原田 康平
		1月14日 (日)	09:30-12:00	症例	河野 恵理
			12:00-12:30	総括	古賀 靖彦
6	精神分析の応用	3月16日 (土)	15:00-17:15	日常心理臨床への応用	妙木 浩之
			17:30-20:00	精神科臨床への応用	松木 邦裕
		3月17日 (日)	09:30-12:00	メンタライゼーション	池田 暁史
			12:00-12:30	総括	松木 邦裕

2023年5月20日.21日

第1回「神経症論」

コーディネーター：古賀靖彦

精神分析は神経症の治療から始まりました。ここではヒステリーをはじめ、各種の神経症を取り上げ、その精神分析的な病理と治療について概観します。さらに、今日的な課題についても学びます。

1.神経症総論 岡田暁宜（慶應義塾大学）

- I) フロイト
- II) 精神病理
- III) 不安
- IV) 防衛

◆参考図書

- 1) 古賀靖彦編集代表（2021）現代精神分析基礎講座第5巻、金剛出版
- 2) S・フロイト（1915-1917）精神分析入門講義、フロイト全集15、岩波書店
- 3) 土居健郎（1988）精神分析、講談社

2.神経症各論 古賀靖彦（油山病院）

- I) 各種の神経症について
- II) 神経症とDSM-5およびICD-10

◆参考図書

- 1) 岩崎徹也（2011）：「精神分析学から見た操作的診断の功罪」
『特集DSM診断体系の功罪 精神療法 Vol.37 No.5』
- 2) Freud, S. (1916-7)：「精神分析入門講義」『フロイト全集15』岩波全集
- 3) 高橋三郎ら監訳『DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引き』医学書院 2014
- 4) 古賀靖彦編集代表（2021）：『現代精神分析基礎講座第5巻』金剛出版

3.解離性障害と自己愛着性障害 岡野憲一郎（本郷の森診療所／京都大学）

- I) 精神分析と解離の病理との関係
- II) 解離性障害の治療について
- III) 精神分析における自己愛の問題
- IV) 自己愛性障害の治療について

◆参考図書

- 1) 岡野憲一郎著『解離新時代』岩崎学術出版社
- 2) 岡野憲一郎著『ナルな人たち』創元社

2023年7月8日・9日

第2回「精神医学と精神分析」

コーディネーター：鈴木智美

精神医学の臨床における、精神分析的な病理理解とともに、その実践についても触れ、疾患だけでなく、病んでいるその人についての理解を深める時間にしたいと思います。

1.感情障害・気分障害 東中園聡（西岡病院）

- I) 何ゆえに精神分析的アプローチなのか
- II) 抑うつ状態の診立ての変遷 / 混乱
- III) 抑うつ状態を呈する各種病態の診立ての必要性
- IV) 内因性うつ病、躁うつ病の精神分析的理解
- V) 事例提示ービオンを手掛かりに
- VI) まとめ

◆参考図書

- 1) 松木邦裕・賀来博光編『抑うつの精神分析的アプローチ』（精神分析臨床シリーズ）金剛出版（特に、松木邦裕著「総論」）
- 2) 小此木啓吾 / 西園昌久監修『アーブラハム論文集（現代精神分析双書II-18）岩崎学術出版（特に、「1. 躁うつ病およびその類似状態について」2. 心的障害の精神分析に基づくリビドー発達史試論」）

2.統合失調症 松木邦裕（精神分析オフィス）

- I) フロイトと自我心理学の精神病論
- II) クライン派の統合失調症臨床
- III) ビオンの統合失調症論

◆参考図書

- 1) 松木邦裕: 精神病というところ 新曜社 2000
- 2) 松木邦裕: 体系講義 対象関係論 上・下 岩崎学術出版社 2021
- 3) ビオン, W. 1967: 再考:精神病の精神分析論 中川訳 金剛出版 2007
- 4) ローゼンフェルド, H. 1965: 精神病状態 松木・小波蔵監訳 岩崎学術出版社 2022

3.心身症・摂食障害 鈴木智美（精神分析キャビネ）

- I) 心身症とは
- II) 摂食障害の分析的病理理解
- III) 治療過程

◆参考図書

- 1) 松木邦裕 「摂食障害というところ」 新曜社 2008
- 2) 古賀靖彦代表編：「現代精神分析基礎講座 vol5 治療論と疾病論」 金剛出版 2021

2023年9月16日.17日

第3回「パーソナリティの病理」 コーディネーター：松木邦裕

パーソナリティそのものとその障害の理解は臨床心理学、精神医学の日常臨床での大きな課題です。精神分析での知見を紹介し、皆様と理解を深めたいと思います。

1.パーソナリティ障害のメタ心理学・臨床対応 松木邦裕（精神分析オフィス）

- I) メタ心理学
- II) 臨床病態
- III) 臨床対応と治療

◆参考図書

- 1) 松木邦裕・福井敏編：新訂増補 パーソナリティ障害の精神分析的アプローチ 金剛出版 2019
- 2) 古賀靖彦編：現代精神分析基礎講座 第5巻 治療論と疾病論 金剛出版 2021

2.パーソナリティ障害の精神分析 鈴木智美（精神分析キャビネ）

- I) パーソナリティ障害とはどんなひとたちか？
- II) 症例
- III) 精神分析/精神分析的な精神（心理）療法での工夫

◆参考図書

- 1) 松木邦裕・福井敏編：新訂増補 パーソナリティ障害の精神分析的アプローチ 金剛出版 2019
- 2) 古賀靖彦編：現代精神分析基礎講座 第5巻 治療論と疾病論 金剛出版 2021
- 3) 片田珠美：他人を攻撃せずにはいられない人 PHP 新書 2013

3.ひきこもり 加藤隆弘 (九州大学)

- I) ひきこもりの精神分析的評価
- II) ひきこもりの多面的評価
- III) 症例 1. (精神分析療法)
- IV) 症例 2. (精神分析的集団精神療法)

◆参考図書

- 1) 近藤直司: ひきこもり問題を講義する 岩崎学術出版社 2019
- 2) 加藤隆弘: みんなのひきこもり—つながりの時代の処世術 木立の文庫 2020.

2023年11月18日.19日

第4回「治療機序論」

コーディネーター：鈴木智美

精神分析の実践を踏まえ、どのように患者と出会い、分析的なアプローチがなされるのか、そこから何がもたらされるのかについてみていきます。

1.アセスメント 岡田暁宜 (慶應義塾大学)

- I) 見立て
- II) 導入
- III) 初回面接

◆参考図書

- 1) 小此木啓吾監訳：フロイト著作集9、人文書院
- 2) 土居健郎：方法としての面接—臨床家のために、医学書院
- 3) G.O.ギャバード著、奥寺崇ら監訳：精神力動的精神医学(第5版)、岩崎学術出版

2.治療機序 鈴木智美 (精神分析キャビネ)

- I) 治療目標
- II) その治療機序

◆参考図書

- 1) ギャバード著 狩野力八郎監訳 精神力動的な精神療法 岩崎学術出版社 2012
- 2) メルツァー著 松木邦裕監訳 精神分析過程 金剛出版 2010

3.治療過程 古賀靖彦（油山病院）

- I) フロイトのモデル
- II) メルツァーのモデル
- III) ジョゼフのモデル

◆参考図書

- 1) Freud, S. (1917) : 第18講 分析療法「精神分析入門講義」『フロイト全集15』岩波書店
- 2) Meltzer, D. (1967) : 『精神分析過程』金剛出版
- 3) Joseph, B. (1989) : 14章 心的変化と精神分析過程『心的平衡と心的変化』岩崎学術出版社

2024年1月13日,14日

第5回「症例から学ぶ」

コーディネーター：古賀靖彦

さまざまな理論や技法論から学ばれた多くのことは、臨床に生かされ、経験によって確かめられなければなりません。今回は、精神分析と精神分析的な精神/心理療法それぞれの症例から学ぶことを中心に、これらの対比における異同についても学びます。

1.精神分析と精神分析的な精神/心理療法、およびスーパービジョン

古賀靖彦（油山病院）

- I) 精神分析の標準的な基準
- II) 精神分析と精神分析的な精神/心理療法の区別の問題
- III) スーパービジョンについて

◆参考図書

- 1) Freud, S. (1919) : 「精神療法の道」『フロイト全集16』、岩波書店
- 2) Sandler, J. (1988) : Psychoanalysis and Psychoanalytic Psychotherapy: Problems of Differentiation, Brit. J. Psychother, 5:172-177
- 3) Ogden, T. H. (2005) : On psychoanalytic supervision, IJPA, 86:1265-80
- 4) 岩崎徹也 (1997) : スーパービジョンをめぐって. 精神分析研究 41:167-181

2.症例 原田康平（福岡大学精神医学教室）

- I) 週4回の精神分析の治療を提示する。
- II) 行き詰まり、陰性治療反応、螺旋状の経過などの高頻度らしい現象を検討する。

◆参考図書

- 1) 神田橋條治監訳 (2001): 治療の行き詰まりと解釈—精神分析療法における治療的/反治療的要因. 誠信書房, 東京. (特に「5 陰性治療反応を起こす自己愛的な患者」)
- 2) 小川豊昭訳: 心的平衡と心的変化. 岩崎学術出版社, 東京. (特に「5 章 到達困難な患者」)
- 3) 松木邦裕 (2021) :パーソナル 精神分析事典.金剛出版, 東京. 『もの思い』 (p.290～) と『夢見ること』 (p.306～) の項。

3.症例 河野恵理 (この脳神経外科クリニック・精神科心療内科)

- I) 中年期女性の週1回精神分析的精神療法の過程を提示する。
- II) その経過を通じて、患者がサドマゾ的対象関係に支配された世界から、対象と生きた交流ができる心の世界を取り戻していったプロセスについて考える。
- III) さらに、週1回精神分析的精神療法の設定についての特徴や限界などについて振り返り考察する。

◆参考図書

- 1) ジョン・シュタイナー著、衣笠隆幸監訳：こころの退避 精神病・神経症・境界例患者の病理的組織化、岩崎学術出版社、1997年
- 2) ジョン・シュタイナー著、衣笠隆幸監訳：見ることと見られること 「こころの退避」から「恥」の精神分析へ、岩崎学術出版社、2013年
- 3) 北山修監修、高野晶編著：週1回サイコセラピー序説 精神分析からの贈り物、創元社、2017年
- 4) ニナ・コルタート著、館直彦監訳：精神療法家として生き残ること 精神分析的精神療法の実践、岩崎学術出版社、2007年

2024年3月16日.17日

第6回 「精神分析の応用」 コーディネーター：松木邦裕

歴史的に、精神分析の知見と技法は様々な臨床場面に活用されてきました。短期精神療法、力動精神医学、認知療法等はそれが発展したものです。そうした応用を今日的な視点から紹介します。

1.日常心理臨床への応用 妙木浩之 (東京国際大学)

- I) 産業臨床
- II) 日常臨床の治療選択
- III) 文脈と治療構造、
- IV) 短期力動心理療法
- V) 精神分析的フォーミュレーション

◆参考図書

- 1) 妙木浩之: 初回面接入門 岩崎学術出版社 2010
- 2) 乾吉祐: 働く人と組織のためのこころの支援—メンタルヘルス・カウンセリングの実際 遠見書房
- 3) ソロモン, M.編著 2001: 短期力動療法入門 妙木・飯島他訳 金剛出版 2014

2.精神科臨床への応用 松木邦裕 (精神分析オフィス)

- I) 精神科臨床と精神分析:その異同
- II) 精神科日常臨床への応用
- III) 精神力動的精神科チーム医療

◆参考図書

- 1) 松木邦裕; 精神科臨床での日常臨床的冒険 金剛出版 2001
- 2) ギャバード, G.O. 2014: 精神力動的精神医学 第5版 奥寺・権・白波瀬・池田監訳 岩崎学術出版社 2019

3.メンタライゼーション 池田暁史 (大正大学)

- I) メンタライゼーションとは
- II) 概念的起源
- III) こころの原始的モード
- IV) メンタライゼーションに基づく治療
- V) 精神分析とメンタライゼーション

◆参考図書

- 1) 池田暁史: メンタライゼーションを学ぼう 日本評論社 2021
- 2) ギャバード, G. O., クリスプ, H. 2018: ナルシシズムとその不満 池田暁史訳 岩崎学術出版社 2022

- 2023年度（3年次）は、ビデオ会議サービス「Zoom」を利用した「ウェビナー」で講義を行います。
- 継続ご参加の場合も、年度毎の申し込み書類が必要になります。

■受講申し込みについて

受講資格

2023年3月時点で、医療、心理、社会福祉、教育などの専門の資格を1年以上持ち、あるいは専門職に1年以上就き、守秘義務を果たすことができる人。

申し込み方法

当方HP (<http://ip-fukuoka.org>) の Google フォームからお申し込みください。

- * お申し込み後、1週間程度経っても事務局からの連絡がない場合は、お手数ですがお問い合わせください。
- * 申込書の記載内容に不備がある場合や、参加資格を満たさない場合は、参加をお断りする場合があります。

受講費

60,000円（通年の受講費）

- * 申込書の受理と参加費の振込確認の両方で申し込み完了とします。
- * 振込者氏名がご本人以外（所属機関等）の場合は、事務局にご一報ください。

申し込み締め切り

2023年4月14日（金）

■受講に際してのお願いとお知らせ

- ・受講者側の通信トラブル、機材トラブルなどについて当方は関知しませんので、ご留意ください。
 - ・講義は、申し込みをした方のみで視聴し、周囲に音声や画像が漏れないようにご配慮ください。
 - ・受講時の録音、録画、スクリーンショットなどは禁止です。
 - ・講義資料を転送したり SNS や Web 上にアップしたりしないでください。
 - ・講義で知り得た個人情報について、口外したり、SNS や Web 上にアップしたりしないでください。
 - ・セミナーの直前は必ず、当方 HP をチェックしてください。 <http://ip-fukuoka.org>
- * 自然災害や感染症などによる緊急な変更が生じた場合は、直ちに HP に記載いたします。

申し込み・お問い合わせ先
精神分析インスティテュート福岡支部

812-0011
福岡市博多区博多駅前1丁目19-3
博多駅前ビル708

TEL.FAX 092-710-5405
E-mail fukuokabranch@jpas.jp